学校番号	407

令和８年度　芸術〔書道〕科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「書道Ⅰ」、「書道Ⅱ」で学習したことの応用・発展的な内容の学習を実施します。
特に、「書道Ⅰ」、「書道Ⅱ」では扱うことが困難であった学習内容（作品寸法が大きなもの、文字数が多いもの）を取り入れ、学習した成果を学校内外で発表することにより、充実感、達成感を味わうことができればと考えています。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・好きな古典をひとつ選択し、画仙紙に臨書する。 ・楷書、行書、草書、隷書及び篆書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しなら、表現する。	a:漢字の書を構成するさまざまな要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

2学期	漢字仮名交じりの書	「未来への決意」を書こう。 ・言葉を考え、画仙紙に創作する。 ・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字（楷書・行書・隷書・草書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。（鑑・知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

	仮名の書	・和歌を料紙に創作する。 ・臨書を通じて、古筆（平仮名・変体仮名・片仮名）の表現形式に応じた全体の構成と、仮名の書を構成する様々な要素を理解する。 ・古筆の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:仮名の書を構成するさまざまな要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。(鑑・知) a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

3学期	漢字仮名交じりの書	・グループで分担して、卒業の歌を創作する。 ・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字（楷書・行書・隷書・草書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などの関わりについて理解している。（鑑・知） a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。（技） b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度